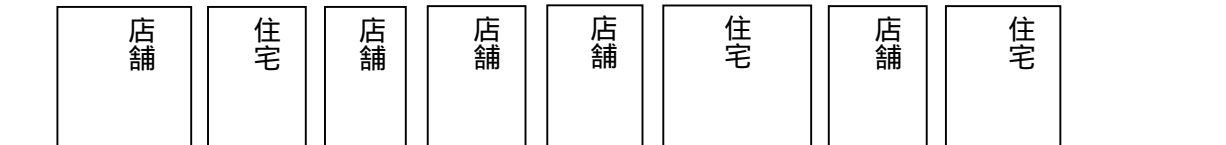


## 【NPO等との協働による道活用】

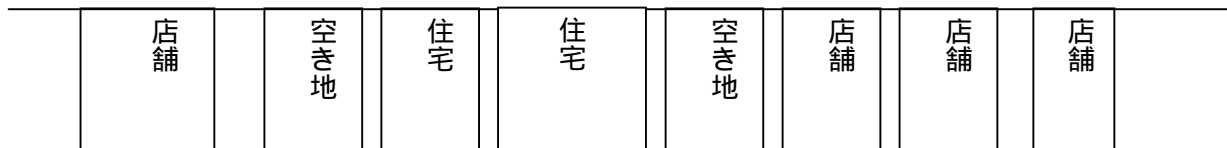
岩手県東和町：地域住民による『遊びの歩道』創出実験

TMOが中心となり道路及び空地に仮設歩行空間を創出し、「遊びの歩道」をイメージしたイベントなど地域主体の道路空間の管理を継続的に行う仕組み（ルール作りや活動資金調達）を構築。

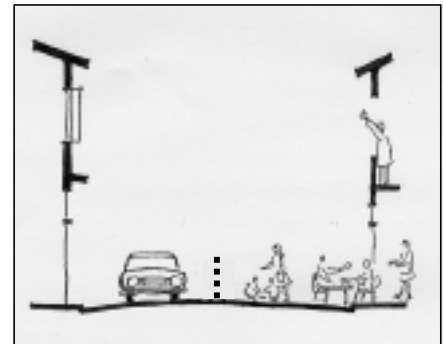


3.5mの歩行空間と見なし社会実験（片側ずつ使い実験：2回開催）

中央分離帯を設定し、現車道を歩行空間として商業経営に活かす。



対象道路の現況写真



『遊びの歩道』のイメージ

（中央分離帯に仮設ガードレールを設置し、道路片側を歩行者空間とする）

### NPO等との協働による道活用とは

地域の住民団体やNPO等が、道路管理者との役割・責任分担のあり方を明確にした上で、地域特性をいかした道路空間づくりや道路管理へ参画する機会を拡大するとともに、これを継続的な活動とするための取り組みです。